

## 抗 GST 抗体, ウサギ抗血清

60-021 100 µl

**保存:** 4℃または-20℃で送付。-20℃で保存。

**免疫原:** リコンビナント GST (アミノ酸 No.1-212)

**形状:** 0.05% sodium azide 添加血清

**反応性:** GST および GST-tagged タンパク質

**用途:**

1. ウェスタンブロッティング (1/2,000 希釈) 2. 免疫沈降

その他の用途は試されてない。

**背景:** グルタチオン S-トランスフェラーゼ (GST) は融合タンパクの作成に広く用いられている。GST-タグは 220 アミノ酸 (約 26kDa) の大きさであり、種々のタンパク質の N-末端に融合させることができる。

**GST-融合タンパク**は、大腸菌でリコンビナント・タンパクとして生成させ、目的のタンパクの精製や、検出に用いられる。**GST** 部はその基質であるグルタチオンに結合する。**GST-融合タンパク**は細胞抽出液からグルタチオン・レジンを用いたアフィニティ・クロマトグラフィにより容易に精製できる。

**GST** に対する抗体がウサギで作成された。

**データリンク:** NCBI Protein Data [AAA57089](http://www.ncbi.nlm.nih.gov/Protein/AAA57089)

図 1

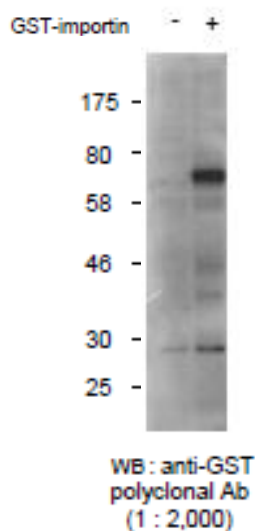


図 1 この抗体を用いたウェスタンブロッティングによる GST-tagged タンパク質の検出

-: 空のベクターをトランスフェクトした 293T 細胞の lysate

+: GST-tagged importin 遺伝子を担うプラスミドをトランスフェクトした 293T 細胞の lysate

図 2

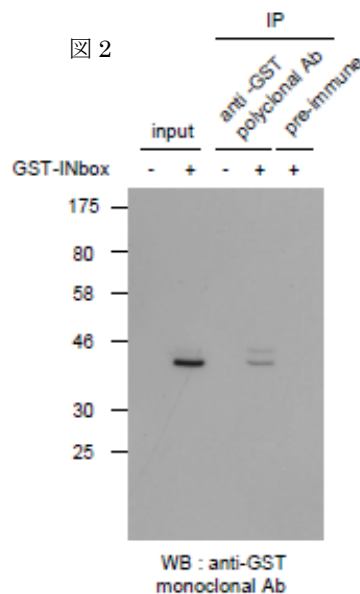


図 2 この抗体を用いた GST-tagged タンパク質の免疫沈降とウェスタンブロッティング

-: 空のベクターをトランスフェクトした 293T 細胞の lysate

+: GST-tagged INbox 遺伝子を担うプラスミドをトランスフェクトした 293T 細胞の lysate

文献:

1. Smith DB & Johnson KS (1988) "Single-step purification of polypeptides expressed in *Escherichia coli* as fusions of glutathione-S-transferase." *Gene* **67**:31-40 PMID: [3047011](#)
2. Kaelin WG Jr *et al* (1991) "Identification of cellular proteins that can interact specifically with the T/E1A-binding region of the retinoblastoma gene product." *Cell* **64**:521-532 PMID: [1825028](#)
3. *Molecular Cloning: A laboratory Manual* (eds. Sambrook, J., Russell, D.W. Cold Spring Harbor Laboratory Press, Cold Spring Harbor, New York, USA, 2001) pp.15.36-15.39, pp.18.48-18.59.